

堺旧市街 (さかいきゅうしがい)



写真出典：堺市ホームページ[2012/8/15 現在]

南の空から見た堺環濠都市遺跡（堺市博物館提供）

http://www.city.sakai.lg.jp/city/_bunkazai/_maibun/book/sakaikan.html

堺市には、中世において、当時繁栄(はんえい)をきわめた大道筋(だいどうすじ)を中心とする旧市街地があり、堀にかこまれた環濠都市(かんごうとし)となっていました。堀は今も残っており、旧市街地のなごりを見ることができます。

Q. どうして環濠都市をつくったの？

A. 織田信長(おだのぶなが)が堺へ圧力をかけたときに、住人が濠(ほり)の深さを深くしたという記録があることから、壕はおもに防御(ぼうぎょ)の機能を持っていたものと考えられるよ。じぶんたちをまもるためだね。この環濠は豊臣秀吉(とよとみひでよし)によって天正 14[1586]年に埋め戻しの命令が出され、少しずつ埋(う)められていったようだよ。その後、大坂夏の陣の終結(しゅうけつ)の後に完全に埋められ、江戸幕府により新たな環濠が掘られたんだ。

Q. 今はどうなっているの？

A. 東側は埋め立て[うめたて]られて、土居川[どいがわ]公園になっているよ。南側・西側は、今も土居川・内川として残(のこ)されているよ。

出典：堺市ホームページ[2012/8/15 現在]

http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_jutaku/sumai_plan_yogo.html

http://www.city.sakai.lg.jp/city/_bunkazai/_maibun/book/sakaikan.html